

自然災害から命を守る

防災宣言

芹田地区 防災計画

—地震編—

令和7年3月

芹田地区自主防災会
芹田地区住民自治協議会

芹田地区防災計画（地震編）

1. 基本方針	2
2. 対象地区と策定主体	3
2－（1） 計画対象地区	3
2－（2） 計画策定主体	3
3. 地区の特性と予想される災害	3
3－（1） 地区の特性	3
3－（2） 予想される被害	3
4. 防災体制	4
4－（1） 平常時	4
4－（2） 災害時	5
4－（3） 活動体制（団体自主防災会の班編成）	6
5. 活動内容	7
5－（1） 平常時の取組	7
5－（2） 災害時の取組	7
5－（3） 避難行動要支援者を含む要配慮者への支援	8
5－（4） 個人における防災行動	9
5－（5） 避難場所等	10
5－（6） 防災備蓄倉庫備蓄一覧	11
— 芹田地区「防災計画」の充実に向けてのアクションプラン —	14

1 基本方針

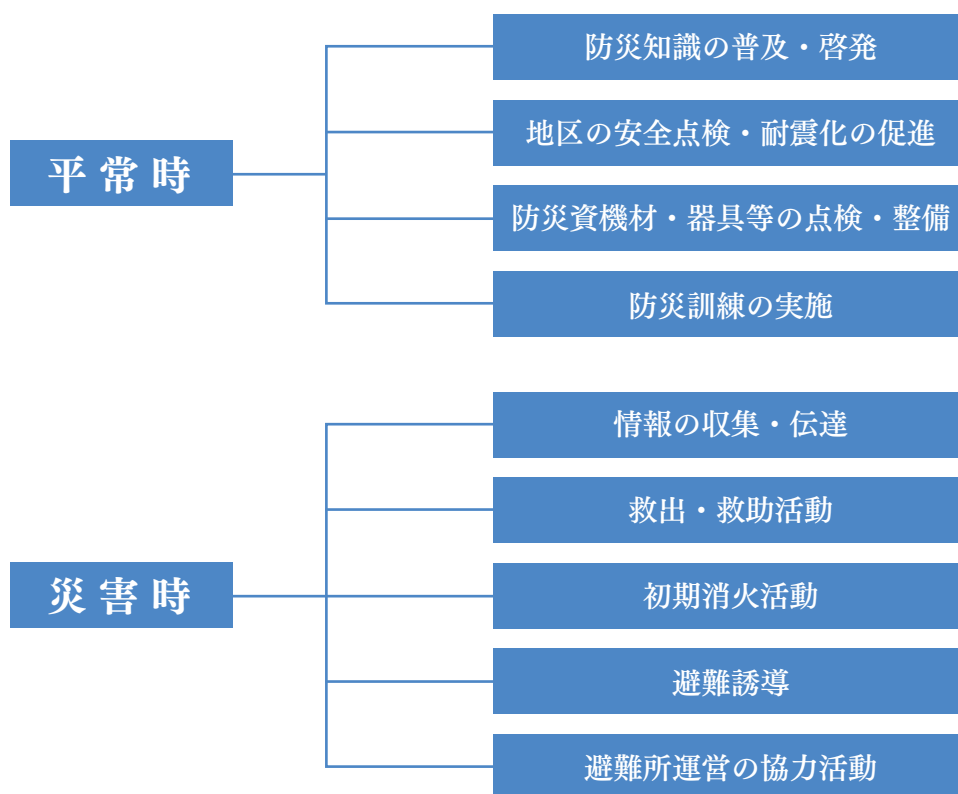
地震が発生した直後は、交通網の寸断・火災の同時多発などにより消防や警察などの防災機関が十分に対応できない可能性があります。そのような時、力を発揮するのが「地域ぐるみの協力体制」です。

近年「東日本大震災」「熊本地震」「能登半島地震」など大規模地震が頻発しています。長野県北部においても「神城断層地震」の際、被災者の救出にあたって活躍したのは地域の住民であり、災害時には「自助」、「公助」と共に、地域における自主防災組織、ボランティア、企業などが共に助け合う「共助」が重要です。

万が一の時は「公助」も同様に被災しており、「共助」無くしては命を救うことができません。そのためには、近所にどんな人が住んでいるのか顔なじみになっておく「自助＝ゆるやかなつながり」が必要です。日頃から声を掛け合い地域のつながりを大切にする事で、いざというときの救助活動に役立てることができます。

「芹田地区防災計画」の策定目的である“**自然災害から命を守る**”を達成するため、地震編においては**平常時からの備えの充実**を図るとともに、災害時における「自助」、「共助」の**着実な実行**を目標とし、『災害死ゼロ、災害関連死ゼロ』を目指します。

芹田地区自主防災会の役割



2 対象地区と策定主体

(1) 計画対象地区

「芹田地区防災計画（地震編）」は次表の地区を対象として定めます。

対象地区	世帯数	人口	事業所数	従業員数
芹田地区	13,500 世帯	26,759 人	1,924	23,808 人

(世帯数・人口 令和6年4月1日現在)

(事業所数・従業員数 令和3年6月1日現在)

芹田地区内の行政連絡区

西部ブロック	北部ブロック	東部ブロック
荒木区	北中区	南俣区
若里西町区	七瀬区	上千田区
若里中央区	七瀬南部区	中千田区
南市区	七瀬中町区	日詰区
北市区	栗田区	母袋区
		川合新田区
		川合新田団地区

(2) 計画策定主体

「芹田地区防災計画（地震編）」は以下の団体が定めます。

団体名称	所在地	活動拠点
芹田地区自主防災会	長野市若里 2-8-18	芹田市民総合センター

3 地区の特性と予想される災害

(1) 地区の特性

- ・高低差の少ない平地に家屋等が多い地区である。
- ・アパートやマンションが多い地区で、単身世帯が増えている。
- ・裾花川の扇状地帯である。
- ・田畑が多い地区であったが宅地開発が進み、近年の気候変動により豪雨災害が発生し、内水氾濫が起きてきている地域である。
- ・長野盆地西縁断層帯、糸魚川－静岡構造線断層帯の地震が起きる可能性がある。
- ・教育機関が多く、外国人留学生が多く居住する地域である。

(2) 予想される被害

- ・建物が密集している地域での家屋の倒壊や延焼火災
- ・液状化
- ・生活インフラの倒壊

4 防災体制

(1) 平常時

1 組織の体制	芹田地区自主防災会 ☎264-5880	担当班
会長	芹田地区住民自治協議会長	総括
副会長	芹田地区住民自治協議副会長	(区長会長) 再掲
事務局	七瀬中町区長	再掲
〃	南俣区長	再掲
〃	日詰区長	再掲
防災委員	荒木区長	総務班、給食・給水班
〃	若里西町区長	情報班、福祉班
〃	若里中央区長	消火班
	南市区長	救出・救助班
〃	北市区長	避難誘導班
〃	北中区長	総務班、給食・給水班
〃	七瀬区	情報班、福祉班
〃	七瀬南部区長	消火班
	七瀬中町区長	救出・救助班
〃	栗田区長	避難誘導班
	南俣区長	総務班
〃	上千田区長	情報班
〃	中千田区長	消火班
	日詰区長	救出・救助班
〃	母袋区長	避難誘導班
〃	川合新田区長	給食・給水班
〃	川合新田団地区長	福祉班
〃	社会福祉協議会長	避難誘導班
〃	民生委員児童委員協議会長	福祉班
〃	地域活動男女共同推進委員会	情報班
〃	赤十字奉仕団芹田分団	給食・給水班
〃	防災士代表	総務班
〃	長野市消防団長野第5分団長	消火班、救出・救助班
〃	水利組合代表	総務班
〃	産業・経済団体代表	総務班
〃	小中学校・高校代表	総務班
〃	大学・専門学校代表	総務班
〃	医療機関代表	総務班

(2) 災害時

1 組織の体制	芹田地区自主防災会 ☎264-5880	
	芹田地区災害対策本部 (会長・事務局長・公民館長)	団体自主防災会 (行政連絡区・諸団体自主防災組織)
	・ 芹田地区に甚大な被害が発生(震度5強程度)し、会長(住自協会長)が必要と判断した時、住民自治協議会事務局に開設 ・ 支所と連携した災害対応 ・ 関係機関との連携調整を行うと共に、団体自主防災会の活動を支援	・ 各区・団体の防災計画等により設置 ・ 公民館等に避難所を設置した場合、芹田地区災害対策本部か芹田支所に連絡 ・ 各団体防災会で物資が不足した場合、各防災会間で相互に補う
2 避難場所等	芹田地区関連の指定緊急避難場所・指定避難所一覧のとおり	
3 緊急時の連絡先	連絡先	電話番号
	長野市芹田支所	226-5369
	長野市役所	226-4911
	長野市消防局 通信指令課	119 (火事・救急)
	長野市消防局 鶴賀消防署	223-0119
	長野県警察 通信指令課	110 (事故・事件)
	長野県長野中央警察署	244-0110
	長野中央警察署若里交番	227-5437
	中部電力パワーグリッド	0120-210-112
	長野都市ガス本社・北信支店	226-8161
	災害時伝言ダイヤル	171
防災行政無線音声自動応答	0120-479-231	

長野市防災情報ポータル・避難所検索・災害通報

- ① 長野市 LINE 公式アカウントにて友達登録を行う
- ② 各防災メニューを選択



長野市防災ナビ (安否登録など)

- ① アプリをダウンロード



(3) 活動体制（団体自主防災会の班編成）

班名	担当者	平常時の役割	災害時の役割
総務班 （団体自主防 災会本部）	団体自主防災会長 （区長、団体長） 区（団体）役員	・団体内全体調整 ・関係機関との事前 調整	・団体内全体調整 ・関係機関との調整 ・被害・避難状況の全 体把握 ・災害対策本部、支所 との情報共有
情報班	区（団体）担当 消防団	・啓発・広報	・公共機関からの情報 収集・伝達
消火班	区（団体）担当 消防団	・消火器具の整備・ 点検	・消火栓・消火器・バ ケツリレーなどによ る初期消火
救出・救助班	区（団体）担当 消防団	・防災資機材・救出 用器具の整備・点 検	・負傷者の救出、応急 手当、救護所等への 搬送
避難誘導班	区（団体）担当 消防団	・避難経路の点検	・住民の避難誘導
給食・給水班	区（団体）担当 赤十字奉仕団	・給食・給水器具の 整備・点検	・炊き出し等の給食・ 給水活動
福祉班	区（団体）担当 民生委員児童委員	・要配慮者の支援体 制の整備	・要配慮者への支援

（参考）資機材の例（目的別）

目的	班名	資機材
①情報収集・伝達	情報班	トランジスタメガホン、携帯用ラジオ、腕章、住宅地図、模造紙、メモ帳、油性マジック等
②初期消火	消火班	小型動力ポンプ、発電機、消防用ホース、消火器、ヘルメット、水バケツ等
③救出	救出・救助班	バール、はしご、のこぎり、スコップ、なた、ジャッキ、ハンマー、ロープ、チェーンソー、小型ウインチ、防煙・防塵マスク等
④救助		担架、救急箱、テント、毛布、シート等
⑤避難所運営協力	給食・給水班	リヤカー、発電機、警報器具、投光器、標識板、標識、強力ライト、寝袋等
⑥給食・給水		炊飯器、鍋、コンロ、ガスボンベ、給水タンク等
⑦訓練・啓発	避難誘導班	模擬消火訓練装置、放送機器、組み立て式水槽、煙霧機、視聴覚機器（ビデオ、映写機等）、住宅用訓練火災警報器等
⑧その他	総務班	簡易機材倉庫、ビニールシート、携帯電話機用充電器等

5 活動内容

(1) 平常時の取組

いざというときに『災害死ゼロ、災害関連死ゼロ』を達成するために、ゆるやかな隣組の連携による「見守り」や「異変の気づき」を大切に、地区の力が発揮できるよう協力して防災活動に取り組みます。

ア 防災知識の普及・啓発

防災対策では、地区住民の一人ひとりが防災に関心を持ち、準備することが重要です。地区住民への防災知識の普及や啓発活動を行います。

その際、自ら防災情報を取得できるよう啓発します。

イ 地区の安全点検・耐震化の促進

防災の基本は、自分たちの住むまちを知ることです。地区の危険な場所や防災上問題のある家屋や場所などを確認し、改善のための働きかけなどを行います。

ウ 防災資機材・器具等の点検・整備

防災資機材は、災害発生時に役立ちます。各区で防災資機材を整備し、日頃の点検や使用方法を確認します。

エ 防災訓練の実施

災害発生時に、地区住民が「地区防災計画」に沿って適切な行動ができるよう、団体自主防災会や市（消防署を含む）とも連携しながら、次の訓練を中心とした地区防災訓練を実施します。

- a 避難訓練（要配慮者の支援を含む）
- b 情報収集・伝達訓練
- c 応急訓練
- d 給食・給水訓練
- e 啓発活動

訓練の実施後は、訓練結果を検証し次回訓練に反映するなど、定期的に活動内容を見直し、必要があれば「地区防災計画」の見直しを行います。

(2) 災害時の取組

災害時は、負傷者の発生や火災など様々な事態が発生する可能性があります。支所や消防・警察など公共機関とも連携しながら、みんなで力を合わせて『災害死ゼロ、災害関連死ゼロ』に向けて活動します。

ア 情報の収集・伝達

公共機関などから正しい情報を収集し、各区等へ伝達します。また、地区の被害状況や火災発生状況などを取りまとめ、支所を經由し長野市危機管理防災課へ報告します。消防や警察などへの通報については各住民が行います。

イ 救出・救助活動

各住民は自分自身がケガをしないよう注意しながら、みんなで協力して負傷者や家屋の下敷きになった人の救出・救助活動を行います。各住民は医師の手当てが受けられるまでの間、負傷者の応急手当をして、救護所へ搬送します。

ウ 初期消火活動

各住民は消防車が到着するまでの間、火災の延焼拡大を防ぐための初期消火活動を行います。

エ 避難誘導

隣組など住民同士で声を掛け合って、指定緊急避難場所や指定避難所など安全な場所へ避難・誘導します。

オ 避難所運営の協力活動

各避難所において必要な物資を把握する際、避難している住民同士が協力して取りまとめます。必要に応じて、炊き出しなどの給食・給水活動を行います。

非常時こそ、お互いを思いやる気持ちを忘れないように、災害後に生じるメンタルヘルスの問題や病気を予防するため、特定の人に負担がかからないように分担の方法を見直しながら運営協力します。

(3) 避難行動要支援者を含む要配慮者への支援

災害時に大きな被害を受けやすいのは、高齢者、障害者、子ども、日本語の不自由な外国人など、人の助けを必要とする人（避難行動要支援者を含む要配慮者。以下「要配慮者」という。）です。こうした要配慮者を災害から守るため、みんなで協力しながら支援を行っていきます。この取り組みを着実に進めるため、民生委員児童委員協議会と連携して取り組みます。

ア 要配慮者の身になって防災環境の点検・改善を行う。

目や耳の不自由な人にも、警報や避難情報がきちんと伝えられるか確認し、避難経路等に障害物や危険な場所はないかなどを点検し、改善に努めます。

イ 支援体制の整備を行う。

要配慮者を把握し、避難する際の支援体制や方法を決めます。支援体制や方法については民生委員児童委員等が定期的に訪問し、確認・見直しを行います。

ウ 避難するとき、しっかり誘導する。

隣近所の助け合いが重要です。一人の要配慮者に複数の避難支援者を決めておきます。非常時こそ、困っている人や要配慮者には、思いやりの心をもって接します。

エ 日頃から積極的にコミュニケーションを図る。

いざというときに円滑に支援ができるよう、日頃から隣組などでゆるやかなつながりを大切にして、何が困難と感じているのかを知っておきます。

(4) 個人における防災行動

ア 平常時（地震に対する 10 の備え）

身の安全の備え	家具類の転倒・落下・移動防止対策をしておこう
	ケガの防止対策をしておこう
	家屋や塀の強度を確認しておこう
初動対応の備え	消火の備えをしておこう
	火災発生の早期発見と防止対策をしておこう
	非常用品を備えておこう
確かな行動の備え	家族で話し合っておこう
	地域の危険性を把握しておこう
	防災知識を身に付けておこう
	防災訓練等には積極的に参加し、防災行動力を高めておこう

イ 災害時

時系列	各個人の行動
地震発生	自身の安全確保 → 火の始末 → 非常脱出口の確保
揺れの収まり	正しい情報の把握・家族の安全確認 → 隣近所の安否確認（漏電、ガス漏れ、余震に注意） → 避難の判断（建物倒壊、火災延焼）
避難	避難の際はガスの元栓を閉め、ブレーカーを落とす → 非常持ち出し品の携行
避難所	秩序ある避難生活 → 避難所運営の協力

(5) 避難場所等

芹田地区関連の指定緊急避難場所・指定避難所一覧							
令和6年8月3日時点							
所在地区	指定避難所	名称	住所	指定緊急避難場所(災害の種類ごとの指定)			
				洪水等	土砂災害	地震	大規模な火事
第三	○	長野市立鍋屋田小学校	長野県長野市大字鶴賀上千歳町1365-2	○ 2階以上	○	○	×
第五	○	長野市立福花小学校	長野県長野市中御所5-6-1	×	○	○	×
芹田	○	長野市立南部小学校	長野県長野市大字鶴賀550-1	○ 2階以上	○	○	×
芹田	○	教育センター	長野県長野市大字鶴賀550-2	○ 2階以上	○	○	×
芹田	○	長野市立犀陵中学校	長野県長野市大字川合新田202-1	○ 2階以上	○	○	×
芹田	-	文化学園長野中学・高等学校グラウンド	長野県長野市上千田141	×	○	○	×
芹田	○	長野市立芹田小学校	長野県長野市大字栗田16-2	○ 2階以上	○	○	×
芹田	-	長野駅東口公園	長野県長野市大字栗田2121	×	○	○	×
芹田	-	清泉女学院大学・清泉女学院短期大学 長野駅東口キャンパス 1階テラス・2階ロビー	長野県長野市大字栗田2277	○ 2階以上	○	○	×
芹田	-	若里公園	長野県長野市若里1-1-50	×	○	○	×
芹田	-	信州大学工学部運動場	長野県長野市若里4-17-1	×	○	○	×
古牧	○	長野市立緑ヶ丘小学校	長野県長野市大字高田2281	○ 2階以上	○	○	×
古牧	○	長野市立櫻ヶ岡中学校	長野県長野市大字高田932	○ 2階以上	○	○	×
安茂里	○	長野市立福花中学校	長野県長野市大字安茂里2069	○ 2階以上	○	○	×

芹田地区の福祉避難所一覧

福祉避難所 ※1	所在地
長野市障害者福祉センター	大字鶴賀 276-10
長野市ななせ仲まち園	大字鶴賀 276-11
長野市栗田園	大字栗田 103
中央隣保館	若里 1-19-5
児童発達支援センターにじいろキッズらいふ	若里 6-6-14
清泉女学院大学・清泉女学院短期大学長野駅東口キャンパス ※2	栗田 2277

※1 福祉避難所は、高齢者、障害者等の要配慮者のうち、一般の避難所での生活が困難な方が、安心・安全に避難生活できるよう必要に応じて開設される二次的な避難所です。

※2 表中の福祉避難所のうち、直接避難できるのは、清泉女学院大学・清泉女学院短期大学長野駅東口キャンパスのみで、直接避難できるのは、事前に個別避難計画で特定されている人工呼吸器を使用している子どもとその家族のみです。

(6) 防災備蓄倉庫備蓄一覧 (R6.12.10 現在)

ア 南部小学校防災倉庫

倉庫	種別	品目	規格等	配備数	単位
南部 小学 校防 災倉 庫	非常用食料関係	サバイバルフーズ	60食 1箱	225	食
		クラッカー (新規格)	50食 1箱	100	食
		レトルト食品 (ご飯)	25食・40食・50食 1箱	3,000	食
		飲料水	500ml ペット	756	ℓ
	トイレ類	簡易トイレパック	1箱 100パック	5	式
		汚物処理剤	大便 100回 2箱入	5	箱
		トイレトペーパー	24巻入	1	箱
	搬送・毛布類	折り畳みりヤカー	積載 150kg	2	台
		ファミリールーム (間仕切壁)	4式入	1	箱
		真空パック毛布	1箱10枚入	20	枚
		ブランケット アルミシート製	1箱60枚入	60	枚
	飲料水・ 炊き出し関係	炊き出しセット	釜55ℓ	1	器
		ひしゃく		2	個
		お玉		2	個
		浄水器		1	器
		やかん	10ℓ	1	個
		バケツ	10ℓ	10	個
		飲料水袋	10ℓ・5ℓ	400	枚
		紙コップ	205cc	4,000	個
		スプーン	プラ 特大	4,000	本
	救助資機材類	革手袋		30	双
		ノコギリ		9	本
		パール	φ25mm1.2m	10	本
		大型ハンマー	両口 4.5kg	10	本
		救助ロープ10m	φ9mm	10	本
		救助ロープ30m	φ9mm	6	本
		油圧ジャッキ	爪2t 頭5t	2	台
		ハンドマイク	23w	2	個
		二つ折り担架		1	基
	水防資機材類	スコップ	剣・平	20	本
		土のう空袋		400	袋
		ブルーシート	2×3間	20	枚
		投光器	500w×2	4	器
		投光器スタンド		2	器
		コードリール	30m	2	個
		発電機 (ガソリン式他)	HONDAEU26i	1	基
		燃料携行缶	20ℓ	1	個
	生活用品類	はさみ	多機能タイプ	1	本
		三角巾特大	105×150cm	175	枚
		ネット包帯	頭部用	24	枚
		下着類 (男)		1	箱
		下着類 (女)		1	箱
生理用品		1080枚入	1	箱	
スリッパ		200足	1	箱	
使い捨てカイロ		1箱 240枚	4	箱	
オムツ (子供M)			200	枚	
オムツ (大人L)			72	枚	
その他	ツルハシ		10	本	
	ほうき		1	ヶ	

イ 犀陵中学校防災倉庫

倉庫	種別	品目	規格等	配備数	単位
犀陵中学校防災倉庫	非常用食料関係	サバイバルフーズ	60食 1箱	5,400	食
		クラッカー (新規格)	50食 1箱	100	食
		飲料水	500mℓ ペット	408	ℓ
	トイレ類	簡易洋式トイレ (ニード製)	汚物処理剤 1箱付	2	式
		簡易トイレバック	1箱 100バック	5	式
		トイレットペーパー	24巻入	1	箱
	搬送・毛布類	折り畳みリヤカー	積載 150kg	2	台
		プライベートルーム	2式入	1	箱
		ファミリールーム (間仕切壁)	4式入	1	箱
		真空バック毛布	1箱10枚入	20	枚
		ブランケット アルミシート製	1箱60枚入	60	枚
	飲料水・炊き出し関係	炊き出しセット	釜55ℓ	1	器
		ひしゃく		2	個
		お玉		2	個
		ごみ箱	容量30リットル	1	個
		浄水器		1	器
		やかん	10ℓ	1	個
		バケツ	10ℓ	10	個
		飲料水袋	10ℓ・5ℓ	400	枚
		紙コップ	205cc	4,000	個
		スプーン	プラ 特大	4,000	本
	救助資機材類	革手袋		30	双
		ノコギリ		10	本
		ボール	φ25mm1.2m	10	本
		大型ハンマー	両口 4.5kg	10	本
		救助ロープ10m	φ9mm	10	本
		救助ロープ30m	φ9mm	6	本
		油圧ジャッキ	爪2t 頭5t	2	台
		ハンドマイク	23w	3	個
		二つ折り担架		1	基
	水防資機材類	スコップ	剣・平	20	本
		土のう空袋		400	袋
		ブルーシート	2×3間	20	枚
		投光器	500w×2	4	器
		投光器スタンド		2	器
		コードリール	30m	3	個
		発電機 (ガソリン式他)	HONDAEU26i	2	基
		燃料携行缶	20ℓ	2	個
	生活用品類	はさみ	多機能タイプ	1	本
		三角巾特大	105×150cm	175	枚
		ネット包帯	頭部用	36	枚
		下着類 (男)		1	箱
		下着類 (女)		1	箱
		生理用品	1080枚入	1	箱
		スリッパ	200足	1	箱
		使い捨てカイロ	1箱 240枚	4	箱
		オムツ (子供M)		200	枚
		オムツ (大人L)		72	枚
	その他	トリアージシート	4色セット	1	セット
		ツルハシ		10	本
	応急救護所用資機材	発電機 (応急救護所用)		1	台
		投光器 (応急救護所用)		2	基
		投光器スタンド (応急救護所用)		1	台
		コードリール (応急救護所用)		1	本
		ガソリン携行缶 (応急救護所用)	10ℓ	1	缶
		折り畳みリヤカー (応急救護所用)		1	台

ウ 長野駅東口公園防災倉庫

倉庫	種別	品目	規格等	配備数	単位
長野 駅東 口公 園防 災倉 庫	非常用食料関係	サバイバルフーズ	60食 1箱	5,280	食
		クラッカー	70食 1箱 (35食2缶)	100	食
		飲料水	500mℓ ペット	408	ℓ
	トイレ類	簡易洋式トイレ (ニード製)	汚物処理剤 1箱付	2	式
		簡易トイレパック	1箱 100パック	5	式
		汚物処理剤	大便 100回 2箱入	4	箱
		トイレトーパー	24巻入	1	箱
	搬送・毛布類	折り畳みリヤカー	積載 150kg	2	台
		プライベートルーム	2式入	1	箱
		ファミリールーム (間仕切壁)	4式入	1	箱
		真空パック毛布	1箱10枚入	20	枚
		ブランケット アルミシート製	1箱60枚入	60	枚
	飲料水・ 炊き出し関係	炊き出しセット	釜55ℓ	1	器
		ひしゃく		2	個
		お玉		2	個
		鍋	容量 8リットル	1	個
		浄水器		1	器
		やかん	10ℓ	1	個
		カセットコンロ	コンロ1 ホンバ` 9本	4	式
		バケツ	10ℓ	10	個
		飲料水袋	10ℓ・5ℓ	400	枚
		紙コップ	205cc	4,000	個
		スプーン	プラ 特大	4,000	本
	救助資機材類	革手袋		30	双
		ノコギリ		10	本
		ボール	φ 25mm1.2m	10	本
		大型ハンマー	両口 4.5kg	8	本
		救助ロープ10m	φ 9mm	10	本
		救助ロープ30m	φ 9mm	6	本
		油圧ジャッキ	爪2t 頭5t	2	台
		ハンドマイク	23w	2	個
		二つ折り担架		3	基
	水防資機材類	スコップ	剣・平	20	本
		土のう空袋		400	袋
		ブルーシート	2×3間	20	枚
		投光器	500w×2	4	器
		投光器スタンド		2	器
		コードリール	30m	2	個
		発電機 (ガソリン式他)	HONDAEU26i	1	基
		燃料携行缶	20ℓ	1	個
	生活用品類	はさみ	多機能タイプ	1	本
		三角巾特大	105×150cm	175	枚
		ネット包帯	頭部用	30	枚
		下着類 (男)		1	箱
		下着類 (女)		1	箱
		生理用品	1080枚入	1	箱
		使い捨てカイロ	1箱 240枚	4	箱
オムツ (子供M)			200	枚	
オムツ (大人L)		108	枚		

芹田地区「防災計画」の充実に向けてのアクションプラン

令和6年12月1日

アクションプランの項目		現状	活動3か年計画				
			令和6年度活動	令和7年度	令和8年度	令和9年度	達成イメージ
③②① 防災学習 タイムライン	(1) 防災学習 ① 区内小中学校等との合同防災学習 ② 大規模災害から学ぶ平時の対応 ③ 地域公民館での防災ワークショップ ④ その他	(1) 学校単位で実施しているものの、地域住民との合同学習の機会がない	① 芹田小学校との合同防災研修実施 ② プラザでの夏休み防災工作教室実施 ・南部、芹田、鍋屋田の3プラザ ③ 健康ウォークで防災倉庫点検 ④ 東口公園で防災DAYに併せて防災訓練実施 ⑤ 教育委員会との連携	① 区内小中学校との合同防災訓練実施 ・避難誘導訓練、避難所設営訓練 ・合同防災運動会	② 区内小中学校との合同防災訓練実施 ・避難誘導訓練、避難所設営訓練 ・合同防災運動会	③ 区内小中学校との合同防災訓練実施 ・避難誘導訓練、避難所設営訓練 ・合同防災運動会	① 学校、地域を巻き込んだ地域一体合同防災訓練の実施が行えるようになっている。 ② 学校、地域との合同防災運動会が実施できている。 ③ 多くの子ども、地域住民が参加しての防災訓練の実施ができるようになっている。 ④ 家庭タイムラインの策定率が80%を超えている。 ⑤ 80%を超える役員が防災士の資格取得者となっている。
	(2) タイムラインの研修、作成 ① 各家庭でのタイムライン作成研修等 ② 大規模災害から学ぶ平時の対応 ③ その他	(2) 大規模災害の講演会等、学校とタイアップした研修がない		① 東部ブロック7区で ・家族タイムライン作成研修実施 ・防災士資格取得研修の実施	② 北部ブロック5区で ・家族タイムライン作成研修実施 ・防災士資格取得研修の実施	③ 西部ブロック5区で ・家族タイムライン作成研修実施 ・防災士資格取得研修の実施	
	(3) 合同防災訓練 ① 通報訓練 ② 避難誘導訓練 ③ 避難所運営訓練 ④ その他、VAIによる浸水体験訓練	(3) 3種類のタイムラインの策定推進 ① 自治体タイムライン ② コミュニティタイムライン ③ 家族タイムライン	■ 3か年計画で、犀川、裾花川に隣接区を中心として実施し、今後も継続する。				
	(4) 住民との防災訓練の実施 ① 役員主体の防災訓練となっている。 ② 子ども達の参加が少ない ③ ブロック合同の防災訓練が未実施 ④ 防災士の資格取得者が少ない。	(4) 住民との防災訓練の実施 ① 役員主体の防災訓練となっている。 ② 子ども達の参加が少ない ③ ブロック合同の防災訓練が未実施 ④ 防災士の資格取得者が少ない。	■ 3か年計画で、17区でのタイムライン策定研修、防災訓練の実施				
⑥⑤④ 防災備蓄品の点検整備	(4) 備蓄品の整備等 ① 指定避難所の備蓄状況の把握 ② 各家庭の備蓄状況の把握 ③ 各区公民館での備蓄実態把握等 ④ 防災倉庫の点検等	(1) 備蓄倉庫の状況 ■ 芹田地区の備蓄倉庫の実態 ・南部小学校 ・鍋屋田小学校 ・緑ヶ丘小学校 ・犀陵中学校 ・東口公園	① 75歳以上世帯での備蓄の推進 ② 要配慮者宅へ備蓄要請 ③ 備蓄の分散化 ④ 防災資機材の充実 ・トランシーバー ・発電機、投光器 ・ジャッキ ・リヤカー等々 ⑤ 助成金申請支援	① 東部ブロック7区で ・備蓄家庭の実態把握 ・各家庭での備蓄要請、あつ旋 ・民生委員児童委員との連携	② 北部ブロック5区で ・備蓄家庭の実態把握 ・各家庭での備蓄要請、あつ旋 ・民生委員児童委員との連携	③ 西部ブロック5区で ・備蓄家庭の実態把握 ・各家庭での備蓄要請、あつ旋 ・民生委員児童委員との連携	① 各ブロックの区民の備蓄率が80%を超えている。 ② 各区でのトランシーバー、発電機等防災資機材の配備が80%を超えている。 ③ 要配慮者宅の備蓄率が100%になっている。 ④ 各区の全公民館等に、要配慮者の3日間程度生活できる備蓄品が確保されている。
	(5) 備蓄品等の分散化等 ① 各家庭での備蓄の推進 ② 要配慮者宅の備蓄の推進 ③ 各区公民館での備蓄の推進	(2) 備蓄品名 ・備蓄食糧-4,200食から6,000食 ・緊急用浄水器-各1台 ・飲料水袋-各400袋 ・紙コップ-各4,000個 ・スプーン-各4,000個 ・炊き出しセット-各1台 ・発電機-各1台、投光器各2台 ・電源用コードリール-各2台 ・ガソリン携行缶(20リットル・発電機用)-各1缶 ・油圧ジャッキ-各2台、パール各2台 ・スコップ各20本、ブルーシート各20枚 ・土嚢用袋各400枚		① 東部ブロック7区での防災訓練実施 ・通報、避難誘導、避難所設営 ・防犯パトロール▶警察署と連携 婦警の配置	② 北部ブロック5区各区での防災訓練実施 ・通報、避難誘導、避難所設営 ・防犯パトロール▶警察署と連携 婦警の配置	③ 西部ブロック5区各区での防災訓練実施 ・通報、避難誘導、避難所設営 ・防犯パトロール▶警察署と連携 婦警の配置	
⑦ 生活環境の整備	(7) 耐震化、家具等転倒防止対策 ① 各家庭の耐震実態の把握 ② 耐震化への支援 ③ 家具等転倒防止の推進 ④ その他防災資機材の整備	① 1時間に100mm▶1m四方の箱に、10cmの深さになる。 ①のペットボトル▶100本分▶100kg相当	① 耐震化推進 ・75歳以上宅調査 ② 家具等転倒防止対策の推進 ・75歳以上宅調査 ③ 助成金申請支援	① 東部ブロック7区での備蓄状況調査 ・公民館での備蓄要請 ・各区での備蓄倉庫設置要請等	② 北部ブロック5区での備蓄状況調査 ・公民館での備蓄要請 ・各区での備蓄倉庫設置要請等	③ 西部ブロック5区での備蓄状況調査 ・公民館での備蓄要請 ・各区での備蓄倉庫設置要請等	① 各ブロックの区民宅の耐震化率が80%を超えている。 ② また、家具転倒防止策が80%の家庭で実施されている。 ③ 要配慮者宅では、100%が家具等の転倒防止策を講じている。
	(8) 日詰神社北側の市有地への遊水地兼公園の設置 ① 平成24年6月豪雨からの要望、② 令和5年3月29日 陳情 ③ 令和6年8月雷雨の際、溢水 ④ 令和6年12月、市への遊水地設置要望書提出	(8) 日詰神社北側の市有地への遊水地兼公園の設置 ① 平成24年6月豪雨からの要望、② 令和5年3月29日 陳情 ③ 令和6年8月雷雨の際、溢水 ④ 令和6年12月、市への遊水地設置要望書提出		① 東部ブロック7区内 ・耐震化実態把握 ・民生委員児童委員との連携 -2 家具等転倒防止策 ・転倒対策済み把握 ・転倒防止の推進	② 北部ブロック5区内 ・耐震化実態把握 ・民生委員児童委員との連携 -2 家具等転倒防止策 ・転倒対策済み把握 ・転倒防止の推進	③ 西部ブロック5区内 ・耐震化実態把握 ・民生委員児童委員との連携 -2 家具等転倒防止策 ・転倒対策済み把握 ・転倒防止の推進	
⑩⑨⑧ 家庭遊水への浸透式貯水水槽設置	(9) 小中学校校庭への浸透式貯水水槽の設置要望 ① 100L~500L 未満▶25,000円 ② 500L以上 ▶50,000円 ※平成14年度~令和5年3月まで▶4,096基 ・500L以上▶469基 ・50L未満▶3,627基 ・芹田地区▶222基、設置率 5.4%	① 雨水貯水水槽設置 陳情 ・令和5年3月29日 ② 日詰神社北側への遊水地設置要望提起 ③ 令和6年12月12日遊水地設置要望 ・日詰区長を主任者として市への要望書策定	■ 長野市役所へバトンタッチ				
	(10) 各家庭での雨水貯水水槽設置の推進	① 雨水貯水水槽設置 陳情 ・令和5年3月29日 ② 日詰神社北側への遊水地設置要望提起 ③ 令和6年12月12日遊水地設置要望 ・日詰区長を主任者として市への要望書策定	① 東通りの芹田小学校交差点~川合新田区までの雨水幹線2号線の早期実現へ	② 南部小学校、芹田小学校の校庭に浸透式貯水水槽が設置されている。	③ 例年の土木工事等要望調査において、区内用水の溢水箇所の個別対応。	④ 60%以上の各家庭で雨水貯水水槽の設置ができている。	① 雨水幹線南部2号線が完成している。 ② 豪雨等の際、河川の溢水がなくなり、床下浸水等がなくなっている。 ③ 小学校グラウンド等に貯水水槽が設置されている。

芹田地区防災計画（地震編）

令和7年3月

芹田地区自主防災会
芹田地区住民自治協議会

